



主要な農作物の生育情報

平成26年度 第9号

(平成26年12月5日)

福島県農林水産部農業振興課



【野菜】

1 いちご

県内の促成栽培は概ね良好に生育しており、収穫は平年並みの11月中旬から始まりました。今後、収穫量が年末に向け増加する見込みです。病虫害の発生では、ハダニ類の発生しているほ場が見られており注意が必要です。

2 にら

生育の良いほ場では、2年株の収穫が平年並みの11月上旬から始まりました。現在は2番刈り用のにらが順調に生育しています。また、1年株のビニル被覆は平年並みの11月中旬～12月上旬に行われ、1番刈りのにらが12月中旬から下旬かけ収穫される見込みです。病虫害の発生は、白斑葉枯病及びアブラムシ類が散見されますが、全体的に少ない状況です。

3 秋冬ねぎ

いわき地方では降雨等の影響で生育がやや抑えられ、平年よりやや遅く11月下旬頃から収穫が始まりました。病虫害では、害虫の発生はほとんど見られませんが、一部ほ場でさび病が発生しています。

【果樹】

1 花芽分化率（果樹研究所）

(1) りんご

花芽分化率は「つがる」は73.2%（平年値79.8%）、「ふじ」は62.9%（平年値70.7%）で平年より低い状況でした。

(2) なし

予備枝新梢の腋花芽の花芽分化率は「幸水」が62.6%（平年値52.3%）、「豊水」は66.6%（平年値62.5%）で、各々平年より高い状況でした。

2 りんご「ふじ」の収穫期と果実品質（果樹研究所）

「ふじ」の収穫盛期は11月21日と、平年より5日遅く、収穫果の一果重は370gで平年よりやや大きい状況でした。また、糖度は15.6度で平年よりやや高く着色も良好でしたが、蜜入り指数は1.7で平年より低い状況でした。

つる割れの発生率は、マルバ台樹が21.2%で平年よりやや多い状況でしたが、JM台樹では少ない状況でした。

【花き】

1 シクラメン

概ね順調に生育しています。出荷は平年並の11月上旬から始まり、12月上中旬頃まで行われる予定です。

2 ストック

会津地方の春出荷の作型は、播種が9月上旬、定植は10月上旬と平年並みに行われました。現在は、ハウス内においてビニルを二重に被覆して保温を行っており、草丈は15～20cm程度に生長しています。

◎ 病虫害の発生状況や防除情報については、病虫害発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>